

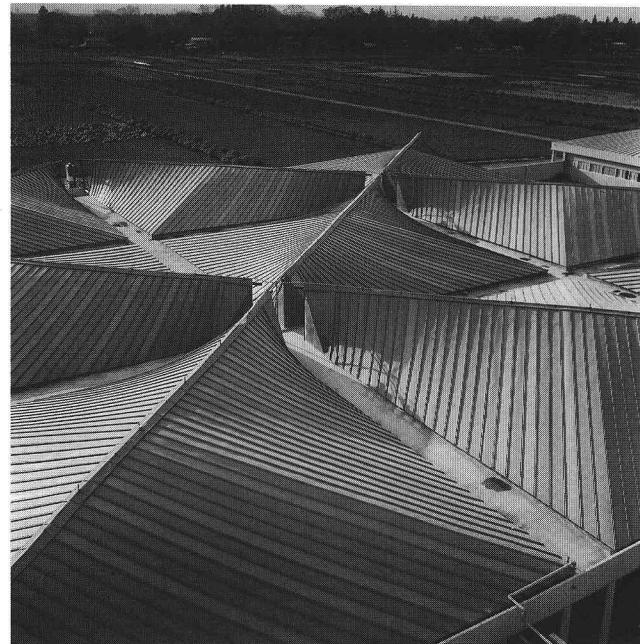
024 シチズン時計技術研究所

埼玉県 建築設計——久須美建築企画研究所

鉄筋コンクリート造+鉄骨造、地上1階建、1964年

この建物の屋根は、パイプ構造の16.2m×16.2mのシェルである。パイプはシェルの直線方向にならべ、圧縮、引張りに効かせ、せん断に対してはX型に鉄筋筋違を設け各節点を結んでいる。シェル面はせん断が主であって、パイプと鉄筋がこれ

に抵抗し、これを稜まで伝える。稜は圧縮または引張りの軸力をまとめて受けることになるので太いパイプが用いられている。



左：研究棟の屋根
右：北側外観
右頁左上：平面(S=1/1400)
右頁右上：屋根伏
右頁下：施工中の屋根
撮影：岡本茂男（左、右）

